

発行 車体発 19 第 164 号  
2019 年 10 月 24 日

## 2019 年度秋季会員大会のご挨拶

10 月 24 日に開催しました秋季会員大会における会長 木村昌平（日産車体㈱ 社長）のご挨拶をお知らせいたします。

車体工業会会長を務めております木村でございます。  
会員の皆様には、日頃から当会の活動にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また本日はご多用中にもかかわらず、このように多くの会員の方々にご出席をいただき、秋季会員大会を開催することができましたことに、心より感謝申し上げます。

先日の台風 19 号で被害をお受けになられた皆様にお見舞い申し上げます。会員様におかれましては、幸い人的被害はなかったと伺っておりますが、事業所、工場での浸水被害等を受けられた会員様におかれましては、一日も早い復旧、復興を心よりお祈りいたします。

さて、本年度 4 月から 9 月の当会会員生産台数累計は、117 万 9 千台、前年比 107% となっています。一方、カーメーカーからの委託生産車を除く当会特有車種を見ますと、特装車、平ボデートラック、トレーラの需要が安定しており、92 千台、前年比 101% と前年を上回る状況です。  
乗用車につきましては、自動車税の恒久減税と消費税率の 2% 引き上げ等の関係から今後を見通すことは難しいと考えております。一方、当会特有車種につきましては、下期の生産台数も前年並みで推移するのではないかと考えております。

それでは、当会事業計画の進捗状況について少しお話しさせていただきます。今年度は、「安全対応活動の推進」「環境対応自主取組みの推進」「中小企業支援活動の推進」「活性化活動の継続推進」を主要活動 4 項目と位置づけ活動しております。

まず第 1 項目の「安全対応活動の推進」につきましては、BSIS（Blind Spot Information System）への対応で車両構造や使用用途等から基準緩和制度の適用等、当会の考え方について説明させていただき、10 月 15 日付の保安基準改正に当会要望を織り込んでいただきました。後方視界確保のバックカメラに関しては、具体的な視認要件が定められたことを踏まえ、適切な対応に向け取り組んでおります。

また、架装物の安全点検制度につきましては、会員の皆様、そして関係各位のご理解、ご協力を得ながら特装車に加えトラックでも対応を開始いたしました。

# News Release



第2項目の「環境対応自主取組みの推進」では、環境基準適合ラベル取得の推進に取り組んでおります。会員の皆様とのコミュニケーション、更に部会の協力も得ながら個社の課題解決にも取組み、取得機種は現在、昨年度から3機種増の227機種となりました。そして、新環境基準適合ラベルにつきましては、昨年度から、

2機種増の193機種となりました。これは会員の皆様のご理解とご協力のお陰であり、お礼申し上げます。また、取得にあたり困っておられることがございましたら、会員の皆様とコミュニケーションを図りながら、支援を希望される会員の皆様には、一緒に課題解決に取り組んでおりますので、ご遠慮なく相談いただければと思います。なお、継続して取り組んでおります、CO<sub>2</sub>、VOC、産業廃棄物の削減とも、皆様の協力のおかげで目標を達成出来る見込みでございます。

第3項目の「中小企業支援活動の推進」では、税制改正などの各種要望を提出し、その実現に向け関係団体と連携し取り組んでおります。そして働き方改革への対応といたしましては、会員様にご協力いただき取り組み状況を確認させていただきました。さらなる対応を検討されておられる会員様へのサポートにも取り組んでまいりますので、事務局へご連絡のほど、よろしくお願いいたします。

最後に「活性化活動の継続推進」では、広報活動の充実として、当会パンフレットをリニューアルいたしました。当会のホームページでもご確認いただけますので、ご活用いただければと思います。また、今年度の完成を目指し、ホームページの全面リニューアルにも取り組んでおります。会員の皆様にも更に活用し易い内容としてまいりますのでご期待いただければと思います。そして、車体業界の認知度向上を図るため、これまで以上にタイムリーな情報発信にも取り組んでおります。

以上のように、本年度事業計画は、概ね計画どおり進捗していると判断しております。なお、事業計画では下期に完結する項目もございますので引き続き皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本日は「第46回東京モーターショー2019」の開会日であり、先程、私も開会式に出席してまいりました。今回のモーターショーは、「OPEN FUTURE」をテーマに、11月4日まで開催されます。当会は「青海展示棟Aホール」に、当会の認知度向上と当会活動、正会員、働くくるまのPRを図るため、パネル展示、VTR放映、そして会員様が製作されたミニカーを展示し、「ミニカーでの働くくるま大集合」を演出しております。また、我々の車体部門は、「青海展示棟Bホール」に2社出展しておりますので、会場で確認いただけますようお願いします。

最後になりましたが、会員各位のご健勝とますますのご発展を祈念いたしまして、開会のご挨拶にかえさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会 事務局 小森

一般社団法人 日本自動車車体工業会 〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館15階  
TEL(03)3578-1681 <http://www.jabia.or.jp/>